

日本油化学会関西支部 第43回特別講演会

日時 平成26年7月24日(木曜日) 14時-17時

会場 常翔学園 大阪センター (<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>)

〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3F Tel: 代表 06-6346-6367

大阪毎日新聞社ビルと1Fで連結しています。徒歩; 10分(大阪駅より)、8分(西梅田駅)、5分(福島駅)

演題と講師

1. 「日本ウイスキーと大阪」—大阪の奇跡—

サントリー酒類(株)スピリッツ事業部生産部シニアスペシャリスト

三鍋 昌春氏

近年、海外のウイスキーコンテストで世界No.1に選ばれ、最高賞を授与される日本ウイスキーが相次いでいます。製法をスコットランドの国民酒スコッチウイスキーに学び、1924年に大阪で産声を上げた日本ウイスキーは、その後わずか90年足らずで世界最高峰に上りつめたのです。

本講演では、なぜ明治日本は国産ウイスキーのモデルにスコッチを選んだのか、なぜ国産ウイスキーづくりが大阪ではじまったのかをお話したいと思います。さらに日本が選んだスコッチタイプのウイスキーとは、そもそもどのような味わいの特徴を持っていたのかを他のタイプのウイスキーとの比較で紹介させていただきます。

大阪で生まれた日本ウイスキーは営々と味わいを進化させて、今日の姿になりました。そのキー技術にも触れたいと思います。

大阪はかつて日本最大の産業都市でした。そして今日でも日本一の世界に誇る食文化を維持しています。日本ウイスキーが世界の飲み手を満足させることができるのも、食の王国大阪にルーツがあるからに違いないと信じて止みません。

2. 「日本精化における新規事業への取り組み」

—新規事業創設のノウハウ—

公益社団法人 日本油化学会 関西支部・支部長

日本精化株式会社 代表取締役執行役員社長

矢野 進 氏

既存事業が成熟した後、企業が更なる拡大を目指すときに新規事業の立ち上げを行います。

これには、新規事業計画に基づく事業化、研究開発からの事業化、企業買収による取り込み、技術購入など様々な方法があります。日本精化では近年、種々異なったアプローチで新規事業の立ち上げを行いました。

精密化学品事業の立ち上げを中心にそれぞれの問題点と利点をお話し致します。

参加費 無料 当日テキストを配布します。特別講演会のみご出席の方は、事前の参加登録は不要です。

懇親会のご案内

特別講演終了後、同所において懇親会(17時-19時を予定)を開催いたします。

どうぞ皆様お誘い合わせの上、是非共にご出席下さるようお願いいたします。

会費(5,000円)は当日いただきますが、準備の都合上、懇親会に参加ご希望の方は、

7月17日(木)までに、ハガキ、FaxまたはE-mailで下記事務局までお申し込み下さい。

懇親会参加の申込先、並びに問い合わせ先:

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町一

京都工芸繊維大学 大学院 工芸科学研究科 物質工学専攻 川瀬研究室内

日本油化学会関西支部 事務局 tel & fax: 075-724-7529

E-mail: oleo-kansai14@iml.chem.kit.ac.jp URL: <http://www.iml.chem.kit.ac.jp/kansai/>